

平成18年度事業計画

(自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)

社団法人 溶接学会

平成18年度において、本会は溶接・接合研究の拡充振興及び溶接・接合教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会 (定款第3条1項)

1.1 春季全国大会

平成18年4月12日～14日 東京ビッグサイト会議棟

研究発表講演 (124件)、特別講演「原子力発電所高経年化に伴う予防保全技術の開発について」、シンポジウム「溶接構造物の長寿命化をめざして、余寿命診断技術・延命技術・補修技術」、フォーラム「各種産業分野における異種材料接合の現状と課題」、若手会員のためのフォーラム、日韓若手シンポジウム

1.2 秋季全国大会

平成18年9月20日 (水)～22日 (金) 北海道大学高等教育研究所 (札幌)

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演
フォーラム「溶接機器・材料は進むか」、若手会員のためのフォーラム、技術セッション、ワークショップ
日韓若手フォーラム

2. 講習会 (定款第3条1項)

2.1 平成18年度溶接技術基礎講座 (第34回)

会 期 平成18年6月8日～9日
会 場 日本教育会館 (東京)

2.2 平成18年度溶接工学夏季大学 (第55回)「溶接現象の正しい理解とその実践的活用」

会 期 平成18年7月18日～19日
会 場 大阪大学大学院工学研究科岡田メモリアルホール (大阪市)

2.3 工業高校教員のための溶接工学夏期講座 (第44) 回

会 期 平成18年8月
会 場 関西地区

3. 刊行 (定款第3条3項)

3.1 溶接学会誌 自75巻2号 (平成18年3月号) 至76巻1号 (平成19年1月号) 8冊

3.2 溶接学会論文集 第24巻2号 (平成18年5月)～第25巻1号 (平成19年2月) 4冊

3.3 全国大会講演概要集 (第78集及び第79集) 2冊

3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

3.5 平成18年度溶接工学夏季大学教材「溶接現象の正しい理解とその実践的活用」

3.6 Mate 2007 12th Symposium on “Microjoining and Assembly Technology in Electronics” 論文集

3.7 溶接構造シンポジウム2006 論文集

4. 第74回通常総会

開催期日 平成18年4月13日

開催場所 東京ビッグサイト会議棟

議 題 1) 平成17年度事業報告承認の件
2) 平成17年度収支決算報告承認の件

3) 監査報告

4) 平成18・19年度理事・監事選任の件

5) 細則改定の件

6) 平成18年度事業計画承認の件

7) 平成18年度収支予算承認の件

8) 平成18・19年度代議員報告の件

9) 特別員推薦の件

10) 表彰の件

11) 溶接学会フェロー認定の件

5. 役員会

5.1 理事会

定例理事会を7回 (3, 4, 6, 9, 12, 3各月) 開催 (5, 6, 7, 8, 10, 11各月は休会) 及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

6. 業務活動

6.1 企画委員会

学会のさらなる活性化に向けて、学会構成員のメリット創出、学会の情報化推進、溶接技術者教育、研究委員会の活性化、学会支部や協会との連携のあり方など、アクションプランの効果的な実施方法を引き続き検討するとともに、会勢増強、活動資金獲得に向けた活動の推進し、財務体制の強化を図る。

6.2 業務活動委員長会議

会務運営を円滑にして会員サービスを向上させるため、各委員会間の連携を密にして効率のよい活動の展開を図る。(今回は企画委員会が担当する。)

6.3 論文査読・審査委員会

年度内2回の定例委員会を開催し、投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査を実施する。インターネット利用による電子委員会では、論文掲載可否査読審査を可能とするシステムを試行し、論文査読・審査を一貫して行える電子査読システムの確立を図り、査読期間の短縮のための諸改革を引き続き実施する。

STWJへの推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を引き続き進める。

6.4 国大会運営委員会

全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。

講演概要集第78集及び第79集を発行する。

春季・秋季両大会において有識者による特別講演を実施する。

国立情報学研究所 (NII) の電子図書館サービス (NACSIS-EIS) への参加に伴い、講演概要集の発行日より1年経過後同サービスにて引き続き公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム (J-Stage) を利用した発表及び投稿申込を実施し、引き続き公開するが、発行日より即同サービスに変更した。

6.5 編集委員会

溶接学会誌、溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集

については、平行して web 論文集の発行を試行する。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）への参加に伴い、溶接学会誌は創刊号からを対象とし、発行日から3年経過後同サービスにて引き続き公開する。論文集は創刊号からを対象とし、発行直後から同サービスにて引き続き公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）への参加に伴い、発行直後から同サービスにて引き続き公開する。

英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に引き続き参加する。

6.6 国際交流委員会

必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

日米協定、日韓協定及び日越協定に基づく活動（合同シンポジウム等を含む）を推進する。

アジア溶接連盟（AWF）の活動に引き続き参加する。

6.7 科学研究費委員会

必要あるとき随時開催し、文部科学省科学研究費に係る問題の検討及び処理を行う。

6.8 溶接用語委員会

- (1) IIW 第 6 委員会と合同で適宜、委員会を開催し、IIW 第 VI 委員会の活動を支援する。
- (2) 溶接・接合辞典の刊行を検討する。
- (3) JIS 溶接用語改訂に関し、日本溶接協会規格委員会に協力する。

6.9 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) IIW 特認コースを踏まえて、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 平成18年度溶接工学夏季大学（前掲）
 - 2) 平成18年度溶接技術基礎講座（前掲）
 - 3) 第43回工高教員のための溶接工学夏期講座（前掲）
 - 4) 溶接・接合技術セミナー
 - 5) 溶接技術実用講座（支部と共催）
 - 6) 新規企画講習会、セミナーなど
- (3) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (4) 国際溶接学会（IIW）特認コースの実施運営要領について検討する。
- (5) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する。
- (6) 日本溶接協会教育委員会と連携し、IIW スキームに準拠した溶接技術者教育用テキストの作成に向けた検討を行う。

6.10 溶接情報化委員会

年度内 4 回の定例委員会を開催し、溶接学会の学術情報公開の基本方針に従い、情報発信形態等を検討すると同時に、溶接学会 HP リニューアル化を検討する。

WEB 版論文集発刊のためのシステム作りを、編集委員会、論文査読・審査委員会と連携して行う。6 月からの WEB 版試行を通して確立し、平成19年 1 月からの本格発刊に備える。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワークを強化および国際化するとともに、学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的として、魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。また、学会員以外の方々にも参加していただけるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

- (1) 春季全国大会フォーラム（共催：（財）溶接接合工学振興会）

例年どおり全国大会の講演と重複する時間を避け、夕刻からの開催とする「イブニングフォーラム」の形式を踏襲する。

主題：Forum of Japanese and Korean Young Researchers

日時：平成18年 4 月13日（木）17:00～19:00

場所：東京ビッグサイト会議棟（春季全国大会開催会場）

なお、秋季全国大会時のイブニングフォーラムは「若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会」の開催を予定している。

- (2) The 2nd JWS-KWS Joint Symposium of Young Researchers（春季全国大会開催に併催）

日時：平成18年 4 月13日（木）14:00～16:45

場所：東京ビッグサイト会議棟（春季全国大会開催会場）

- (3) 海外基礎セミナー

日時：平成18年 5 月18日（木）9:00～14:00

場所：Beijing Orientalbay International Hotel (Beijing, China)

- (4) セミナー、勉強会、見学会等を開催し、若手会員の活動を支援する。
- (5) 若手会員間における学会へのニーズ、期待を把握し、溶接学会のあるべき姿の提言を行う。

7.3 情報交換および広報

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。
- (2) ホームページに活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。また、研究室・研究所紹介については、ホームページ上からキーワードで検索できるシステムを構築する。
- (3) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会 HP の拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際対応、ナショプロ化対応等について検討する。
- (2) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」（中込忠男主査）が終了する。
- (3) 特別研究会「TIG 溶接並みの高品質溶接を可能とする次世代 MIG 溶接プロセスの開発・実用化」（主査 平岡和雄、平田好則）

第 1 回は2006年 5 月末に開催を予定し、年 4 回を予定し、

溶接法研究委員会や溶接アーク物理研究委員会とも連携しながら現状の課題や問題点を抽出する。さらに民間調査機関によるマーケティング調査も進める予定で検討する。

- (4) アドホック研究会「ファイバーレーザスマート加工研究会」(塚本雅裕 主査)
ファイバーレーザを中心にレーザ加工の現状を調査し、これからのレーザ加工(レーザスマート加工)について、さらに調査を進めるとともにレーザスマート加工に関するシンポジウム開催を予定している。

- (5) ミニ研究会「溶接問題の解析における大規模高速計算機の活用法」(芹澤 久主査)

近い将来に期待される大規模高速計算機を活用し、現在は解析が困難な実構造物全体を対象として溶接問題を解析するための必要事項を検討するため資料収集を行い、収集した資料に基づき、年4回の研究会を行い、溶接問題特有の工学的現象に注目した、大規模高速計算機の活用方法について議論し、具体的な指針の確立を目指す。

- (6) ミニ研究会「ナノ構造デザインにおける論理と直観」(高原 渉主査)

溶接・接合分野における第一原理計算手法の適用可能性を調査するとともに、各委員の研究分野の状況も踏まえ、量子力学に基づく論理的計算手法を利用したナノ構造デザインの可能性と限界性、さらには今後何が必要とされていくのかを考察する。研究会終了後のH19春季もしくは秋季大会において研究報告を行う。

- (7) 春季全国大会においてフォーラム(界面接合研究委員会)を開催する。(前掲)
- (8) 秋季全国大会においてフォーラム(溶接法研究委員会)を開催する。(前掲)

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
170回	3月	東京	研究報告5件(日本造船学会材料・溶接部会との合同委員会)
171回	5月	東京	
172回	11月	大阪	溶接構造シンポジウム2006
173回	1月	東京	

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
194回	5月	東京	基調講演、研究報告 5～6件
195回	8月	大阪	基調講演、研究報告 10～12件(アーク物理研究委員会と合同)
196回	未定	名古屋地区	基調講演、研究報告 10～12件 見学会
197回	2月	東京	基調講演、研究報告 10～12件(溶接冶金研究委員会と合同)

JIW 第12委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 学 会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
184回	5月	東京	研究報告 5～6件
185回	9月	大阪	研究報告 5～6件
186回	10月	未定	研究報告 5～6件 見学会
187回	2月	東京	研究報告 10～12件(溶接法研究委員会と合同)

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
209回	4月	東京	研究発表 5～6件
210回	6月	東京	研究発表 5～6件
211回	11月	未定	研究発表 5～6件 見学会
212回	1月	東京	研究発表 5～6件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会 期 1回の会期は、原則として1日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
52回	5月	東京	研究発表 5～6件、文献紹介、その他
53回	10月	大阪	研究発表 5～6件、文献紹介、その他
54回	2月	東京	研究発表 5～6件、文献紹介、その他

JIW 第4委員会と協力して国際研究活動を行う

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
73回	6月	東京	講演・研究報告 4～5件
74回	9月	大阪	講演・研究報告 4～5件
75回	11月	未定	講演・研究報告 4～5件 見学会
76回	1月	東京	講演・研究報告 4～5件

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。

WG 活動を行う。

8.8 溶接アーク物理研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は、合同研究委員会のときは2日その他1日または2日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
162回	5月	東京	年度を通じ溶接現象に関する事実と法則の探求と溶接機構の解明について研究討論を行う。
163回	8月	大阪	
164回	11月	東京	
165回	1月	東京	

JIW 第212委員会などと協力して国際研究活動を行う

8.9 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
81回	5月	東京	講演、研究発表 4～7件
82回	9月	東京	講演、研究発表 4～7件
83回	12月	東京	講演、研究発表 4～7件

- (4) ソルダリング分科会を開催する

会合名	開催日	開催地	内 容
41回	7月	東京	単独開催、テーマ設定方式
42回	10月	東京	単独開催、テーマ設定方式

- (5) マイクロ接合技術セミナーを開催する
- (6) Mate 2007 シンポジウムを開催する

8.10 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
(2) 会 期 1回の会期は原則として1日とする。
(3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
72回	5月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
73回	10月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
74回	1月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件

JIW 第1委員会などと協力して国際研究活動を行う

9. 溶接学会記念基金助成活動

アジア若手研究者フォーラム“Asian Young Researcher Forum”
(中国・北京)

平成18年5月18日(木)、北京(中国)にての開催に向け、6名の講演者を派遣予定。

10. 国内活動

10.1 日本学術会議接合工学専門委員会、同金属工学研究連絡委員会、同材料工学研究連絡委員会、造船学研究連絡委員会、構造工学研究連絡委員会、生産学術連合会、電子技術産業

協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、日本非破壊検査協会、その他関係学協会との協力態勢を積極的に樹立し本会の目的達成を図る。

10.2 各政府機関に対して行政協力を積極的に行う。

10.3 支部活動を活発に行う。

11. 国際活動

11.1 JIWの活動を支援し、IIWの活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。

11.2 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換して積極的に交流を図る。

11.3 会員による海外視察の立案、国外からの来訪者による特別講演の実施、訪日外国人の国内視察幹旋などにより研究及び経験の交流を図る。

11.4 米国溶接協会(AWS)、大韓溶接学会(KWS)、及びヴェトナム溶接学会(VWS)の各協力協定に基づき交流活動を推進する。

アジア溶接連盟(AWF)の運営・活動に協力する。

平成18年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

秋季全国大会

会 期：平成18年9月20日(水)～22日(金)

場 所：北海道大学高等教育機能開発総合センター

2. 会務

2.1 平成18年度支部商議員会並びに支部総会

日 時：平成18年3月2日(木) 16:00～17:00

場 所：北海道大学工学部本館 A6-63 室

2.2 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会

(1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会

(2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会

(3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会

(4) 溶接学会溶接学術振興賞

2.3 幹事会

2回開催予定

2.4 平成18年度全国大会実行委員会

会 期：平成18年6月、9月、11月予定

場 所：北海道大学工学部

2. 東北支部

1. 事業

1.1 講習会・セミナーなど

第18回溶接・接合研究会

日 時：平成18年7月21日(金) 13:00-17:00 (予定)

場 所：山形県工業技術センター (予定)

研究発表5～10件、特別講演1件

参加者：40～50名

2. 会務報告

2.1 第43回商議員会

日 時：平成18年5月13日(土) 11:00～12:00

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室(仙台市泉区)

2.2 表彰

日 時：平成18年5月13日(土) 12:00～12:30

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室(仙台市泉区)

平成17年度溶接技術奨励賞：2名

平成17年度溶接技術普及賞：1名

平成17年度本部奨学賞(報告)：1

平成17年度東北支部奨学賞(報告)：5名

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送(平成18年6月中旬)

3. 東部支部

1. 第34回 実用溶接講座

主題等現在検討中。

2. 地区講演会・講習会

(1) 東京地区：実施予定(時期未定)

(2) 神奈川地区：実施予定(時期未定)

(3) 千葉地区：実施予定(時期未定)

(4) 茨城地区：平成18年3月28日実施予定

(5) 埼玉地区：実施予定(時期未定)

(6) 栃木地区：実施予定(時期未定)

(7) 群馬地区：実施予定(時期未定)

(8) 新潟地区：実施予定(時期未定)

(9) 山梨地区：実施予定(時期未定)

(10) 長野地区：実施予定(時期未定)

3. 平成18年度・通常総会

開催日時：平成18年5月23日(火) 15:00～16:00

開催場所：(財)日本溶接技術センター

議 題：

- (1) 平成17年度事業報告および会務報告承認の件
- (2) 平成17年度収支決算報告承認の件
- (3) 平成18年度事業計画（案）承認の件
- (4) 平成18年度収支予算（案）承認の件
- (5) 役員改選に伴う新役員承認の件

4. 特別講演

開催日時：平成18年 5 月23日（火）16:00～17:00

開催場所：（財）日本溶接技術センター

講演題目：「大出力ファイバレーザ溶接技術の現状と今後の動向」

講 師：荒谷 雄氏（（株）レーザックス）

5. 表彰式

日 時：平成18年 5 月23日（火）

平成18年度通常総会議事終了後に開催。

場 所：（財）日本溶接技術センター

6. 常任幹事会・地区委員長会議

適宜開催する。

4. 東海支部

1. 事業計画

1.1 講習会、セミナーなど

(1) 溶接研究会

第60回 平成18年 8 月

場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室

テーマ：未定

第61回 平成18年10月

場 所：名古屋大学 VBL

テーマ：未定

第62回 平成19年 2 月

共 催：中部レーザ応用研究会と共催

場 所：名古屋大学 VBL

テーマ：未定

(2) 講習会

第14回溶接技術講習会

テーマ案：未定

開催日：平成18年12月

場 所：未定

1.2 JICA 国際溶接技術者研修コースへの協力

4 月17日から10月19日（10名の研修生）

2. 会務計画

2.1 平成18年度支部総会及び特別講演

日 時：平成18年 5 月26日（金）13:30～17:00

場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室

議 事：1) 平成17年度事業報告及び決算報告

2) 平成18年度支部役員の確認

3) 平成18年度事業計画（案）及び予算案の審議

4) 支部三賞授賞式：溶接学術奨励賞，溶接技術奨励賞

篠田 剛 氏（名古屋大学）

漆崎 守 氏（デンソー）

特別講演：未定

2.2 支部商議員会および支部役員会

1 回商議員会 平成18年 4 月26日（水）於：名古屋大学

2 回商議員会 平成18年 5 月26日（金）於：名古屋市工業研究所

支部 3 賞授賞審査委員会 平成18年 3 月10日 名古屋大学

5. 北陸支部

1. 事業

特別講演会

会 期：平成18年 7 月及び11月予定

場 所：未定

研究発表会

会 期：平成18年11月予定

場 所：未定

2. 会務報告

2.1 平成18年度通常総会

会 期：平成18年 7 月予定

場 所：未定

2.2 幹事会・商議員会

会 期：平成18年 7 月及び11月予定

場 所：未定

6. 関西支部

1. 事業

1.1 平成18年度 技術セミナー

平成19年 2 月頃 開催予定（テーマ未定）

1.2 上記セミナーテキストを刊行予定

2. 会務報告

2.1 平成18度 商議員・幹事合同委員会

日 時 平成18年 5 月31日

場 所 ホテルホップインでの開催を予定

2.2 技術セミナー運営委員会

平成18年 8 月頃開催予定

7. 中国支部

1. 事業計画

1.1 研究会・見学会

日 程：平成18年 6 月（予定）

場 所：第 9 回：平成18年度：三菱重工業（株）三原製作所，（株）IHIMU 呉工場，三菱重工業（株）下関造船所，リョービ（株）広島工場

1.2 溶接技術講習会

題 目：「未定」

日 時：未定

会 場：未定

参加者数：60名（予定）

1.3 第 3 回 学修会

日 程：未定

会 場：近畿大学工学部，広島大学工学部，他団体との共催（未定）

趣 旨：溶接学会員の増員，中国支部の若手技術者の基礎力養成，中国支部ネットワーク作り

内 容：中国支部会員（講師）5 名程度による講義，

WES2 級テキスト使用

初日：基礎講座，2 日目：専門講座

2. 会務計画

2.1 第 1 回 幹事会

日 程：平成18年 5 月（予定）

議 題：研究会・見学会，学修会，講習会等打合せ

2.2 第2回 幹事会・受賞審査委員会

日 程：平成18年12月（予定）

議 題：18年度事業・会務報告，19年度事業・会務計画立案，各種表彰推薦者の審査

2.3 第3回 幹事会・商議委員会合同会議

日 程：平成19年3月

議 題：18年度事業・会務報告，19年度事業・会務計画説明，奨学賞受賞報告

2.4 総会・特別講演会

日 程：平成19年3月

議 題：18年度事業・会務報告，19年度事業・会務計画説明，表彰式

受賞記念講演会：2名程度

8. 四国支部

1. 事業及び会務

- 1.1 平成18年度（社）溶接学会四国支部総会
平成18年7月7日（金）

香川（香川県産業技術センター）

担当：吹田副支部長，高田常任幹事，後藤，香川幹事
第15回溶接技術基礎講座 香川

担当：勝村支部長，副支部長（全員），水口常任幹事，
山下幹事

1.2 第21回溶接技術実用講座 徳島

平成18年11月17日（金）

担当：上田副支部長，吉田常任幹事，西本幹事

9. 九州支部

1. 事業

- 1.1 （未定）

1.2 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第3号

2. 会務報告

- 2.1 平成17年度通常総会・研究発表会

日 時 平成18年7月28日

- 2.2 平成17年度商議委員会

日 時 平成18年7月28日